環境経営レポート

エコアクション21
認証番号 0010205

発行年月日：2026年06月02日

対 象 期 間：2025年04月01日～2026年03月31日

循環型社会推進企業



We aim for s sustainable society

今ここにある世界を　そしてこれからの未来を支えていきたい

赤井工業株式会社
AKAI Industry Co., Ltd.

https://www.akai.co.jp

目　　次

01. 組織の概要 ---------- 1

02. 認証登録の対象組織・活動 ---------- 3

03. 環境経営方針 ---------- 4

04. 環境経営目標 ---------- 5

05. 環境経営目標の実績 ---------- 6

06. 環境経営計画の内容と取組結果---------- 7

07. 環境経営計画の今後の方針及び次年度の取組内容------ 8

08. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価
の結果並びに違反、訴訟等の有無 ---------- 9

09. 代表者による全体評価と見直し・指示 ---------- 10

10. 環境経営状況（教育及び外部コミュニケーション）---- 11

ご挨拶

--- 循環の環　私たちは持続可能な社会を目指しています ---

地球資源の枯渇にともない叫ばれてきた「循環型社会の構築」。当社もまたリサイクルの一翼を担う企業として、産業廃棄物の「適正処理」及び「再生利用」を推進し、環境負荷の少ない社会への実現に貢献できるよう事業活動を行っています。

橋梁、鉄道、道路、ビルディング、河川の護岸などの構築物の全てに数多くの砕石が使われ、私たちの暮らしを支えています。しかし、砕石にも色々な種類があり、TPOに応じた適材適所の資材供給をすることが必要です。

SDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に向け、事業を通じて様々な社会の課題解決に取り組んでいきます。

私たち赤井工業はこれまでに培ってきた多くの経験と実績から、安全で快適な砕石事業と、地域循環圏を念頭にした循環型社会形成に向けた安定的な産業廃棄物処理業によって、真摯な活動を実践しており、より一層計画的に継続していくために平成25年からエコアクション21に取り組んでおります。

このレポートはその結果を取りまとめたものです。
皆様方にご高覧をいただければ幸いです。

2026 年 6 月 2 日
赤井工業株式会社
代表取締役　　宮本　清富



1　組織の概要

（1）事業所名及び代表者氏名

赤井工業　株式会社

代表取締役　宮本　清富

（2）所在地及び電話番号

①本社　和歌山県岩出市畑毛226番地　②RCセンター　和歌山県紀の川市神通200－2

③神通砕石工場　和歌山県紀の川市神通200－2　④建設発生土処分場　和歌山県紀の川市中畑神子平500番

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者　赤井　靖

担　当　者　田村　友彦　電話：0736-62-5800 FAX：0736-62-5801

（4）事業の概要

産業廃棄物収集運搬・中間処理（破砕・天日乾燥・造粒固化）

砕石・砕砂・再生骨材・改良土の製造販売、土木工事・建設発生土中間処理・最終処分

（5）法人設立年月日

昭和44年8月27日

（6）事業規模

資本金　1,000 万円

売上高　1,268 百万円（2025年度）

産業廃棄物取扱量　(中間処理量200,943ｔ　収集運搬量163,019ｔ)　集計期間　4月～3月

建設発生土取扱量　(中間処理量97,350㎥　最終処分量110,627㎥)　集計期間　4月～3月

	本社	RCセンター	砕石工場	合計
従業員数（人）	14	4	18	36
敷地面積（㎡）	399	21,151	467,886	489,436
床面積（㎡）	143	ー	33,322	33,465

※従業員数は2026年6月2日現在　※一般建設業にかかる実績はありません。

（7）事業年度　4月～3月

（8）許可等の内容

・産業廃棄物収集運搬業（積替えを含まない）
・産業廃棄物処分業（中間処理）
・一般建設業
・砕石業（採石認可・林地開発許可）
・建設発生土処理（中間処理・最終処分）

（9）産業廃棄物処理業許可内容

収集運搬業（積替を含まない）

許可行政	許可番号	許可年月日	有効期限	汚泥	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物残渣	金属くず	ゴムくず	ガラスくず	がれき類	鉱さい	燃え殻	ばいじん
和歌山県	3001135471	2021.11.17	2028.11.16	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		
大阪府	2700135471	2024.07.09	2031.07.08	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
兵庫県	2801135471	2024.04.27	2031.04.26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
奈良県	2900135471	2025.02.14	2032.02.13	○	○	○	○	○		○	○	○	○			
福岡県	4000135471	2022.03.22	2029.03.21	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	

処分業（破砕・天日乾燥・造粒固化）

和歌山県	3021135471	2021.11.17	2028.11.16	破　　砕：無機性汚泥・ガラスくず・がれき類・鉱さい 天日乾燥：無機性汚泥 造粒固化：無機性汚泥

産業廃棄物処理業優良認定

	取得年月日	許可の種類
和歌山県	H26.11.17	収集運搬業・処分業
兵庫県	H29.04.27	収集運搬業
大阪府	H29.05.30	収集運搬業
奈良県	H30.02.23	収集運搬業
福岡県	R04.03.22	収集運搬業

（10）建設発生土処理許可内容

	許可番号	許可年月日	許可の種類
和歌山県	05230018	2018.06.01	最終処分場指定
和歌山県	03050004	2020.07.07	特定事業許可

（11）保有施設概要

用途	種類	車種	台数
営業車両（ｶﾞｿﾘﾝ車）	軽自動車	乗用車	1
	普通車	乗用車	12

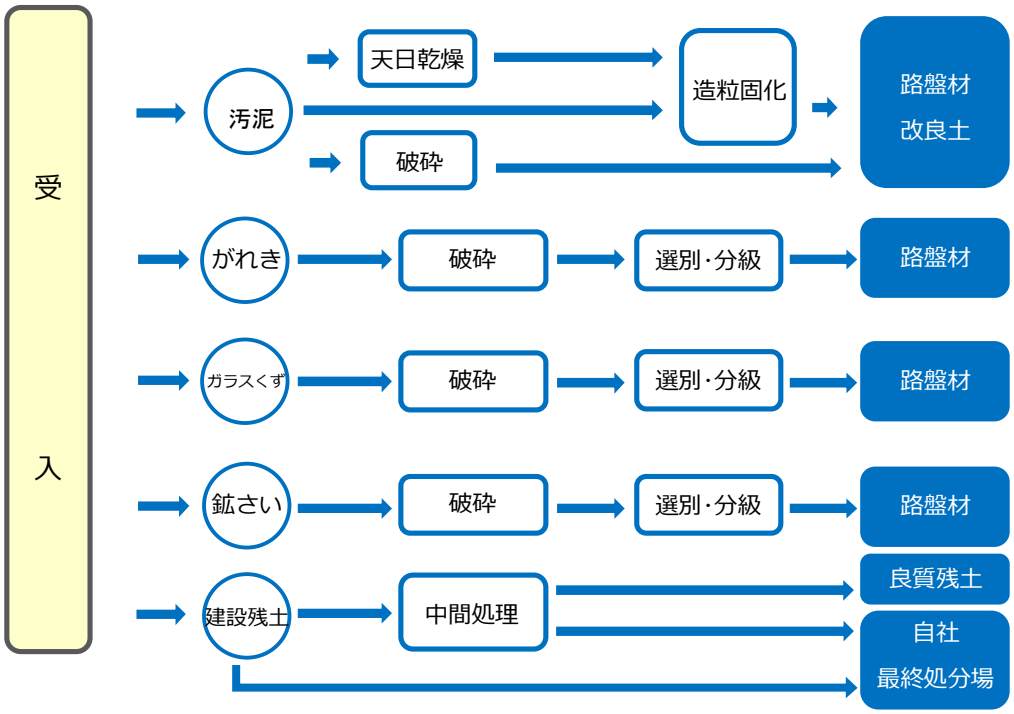
	種類	産廃処理用（台）	砕石用・処分用（台）
ディーゼル車（重機）	ブルドーザ	0	2
	油圧ショベル	4	9
	ホイールローダ	2	3
	ダンプトラック	26	4
	その他	2	7

種類		設置場所	動力(kW)	処理能力（t/時）
破砕施設	産廃用	紀の川市神通	95	110
			75	100
	砕石用		150	532
			170	289
			190	226
			190	289
			190	600
			220	226
			220	370

造粒固化施設	紀の川市神通	無機性汚泥：150㎥/時

天日乾燥施設	紀の川市神通	建設汚泥：98㎥/日

（12）処理工程



2　認証登録の対象組織・活動

（1）登録組織名

赤井工業　株式会社

（2）対象事業所

①本社

②RCセンター：産業廃棄物中間処理（破砕・天日乾燥・造粒固化）

③神通砕石工場

④建設発生土処分場

（3）対象事業内容

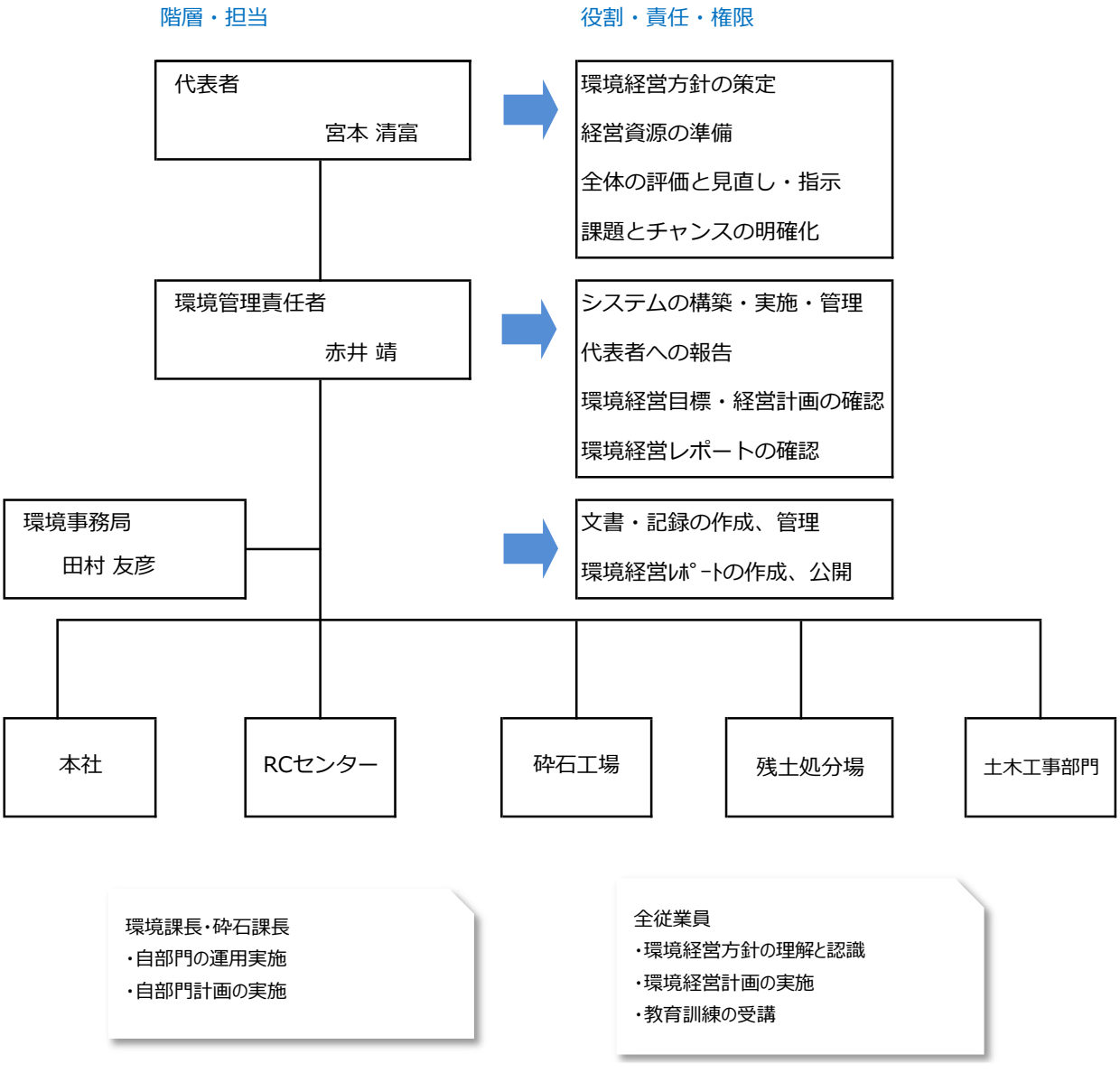
産業廃棄物収集運搬・中間処理（破砕・天日乾燥・造粒固化）

砕石・砕砂・再生骨材・改良土の製造販売

建設発生土中間処理・最終処分

※一般建設業については実績が出来次第、対象事業活動に加える。

3　組織図



3　環 境 経 営 方 針

＜基本理念＞

昭和44年に会社設立以来、当社は「ハイ・クオリティの追及」を原点に、砕石製品の製造から始まり社会の環境へのニーズに対応するため産業廃棄物の収集運搬と中間処理を行ってまいりました。今後の事業展開を進めていく中で、深刻化する地球温暖化や、地下資源の枯渇への対応が人類共通の喫緊の課題との認識にたち、SDGsの推進や事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

＜経営行動指針＞

１．具体的に次のことに取り組みます。

①電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
②収集運搬車・重機などの燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
③自社が排出する廃棄物と受託産業廃棄物の３Ｒ（発生抑制、再使用、再資源化）の推進
④水資源の節約
⑤事務用品などのグリーン購入の推進
⑥コピー用紙など、資源の削減
⑦水生生物の環境保護
これらについて環境経営目標・経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

２．環境関連法規制や地域との協定を遵守します。

３．この環境経営方針を全従業員に周知し、公表します。

制定日：2013 年 9 月　1 日
改定日：2022 年 6 月27 日
赤井工業株式会社
代表取締役　宮本　清富

4　環境経営目標

2021年度実績を基準とした目標は次の通りです。

環境経営目標		取組サイト	基準年度（2021年）	2025年度 目標値 2.0%削減	2026年度 目標値 3.0%削減	2027年度 目標値 4.0%削減	2028年度 目標値 5.0%削減	2029年度 目標値 6.0%削減
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	本社	15,652kWh	15,339kWh	15,182kWh	15,026kWh	14,869kWh	14,713kWh
	CO_2排出係数	工場	590,082kWh	578,280kWh	572,380kWh	566,479kWh	560,578kWh	554,677kWh
	0.385	※2 全社	233,208KgCO2	0KgCO2	0KgCO2	0KgCO2	0KgCO2	0KgCO2
	ガソリン使用量の削減	本社	16,382ℓ	16,054ℓ	15,890ℓ	15,726ℓ	15,563ℓ	15,399ℓ
	CO2排出係数	工場	4,280ℓ	4,194ℓ	4,152ℓ	4,109ℓ	4,066ℓ	4,066ℓ
	2.32	全社	47,935KgCO2	46,976KgCO2	46,497KgCO2	46,018KgCO2	45,538KgCO2	45,158KgCO2
	軽油使用量の削減	本社	－	－	－	－	－	－
	CO2排出係数	工場	1,088,296ℓ	1,066,530ℓ	1,055,647ℓ	1,044,764ℓ	1,033,881ℓ	1,022,998ℓ
	2.58	※1 全社	2,807,803KgCO2	2,751,647KgCO2	2,723,569KgCO2	2,695,491KgCO2	2,667,413KgCO2	2,639,335KgCO2
	二酸化炭素合計($kg\text{-}CO_2$)		3,088,946KgCO2	2,798,624KgCO2	2,770,066KgCO2	2,741,509KgCO2	2,712,951KgCO2	2,684,493KgCO2
廃棄物排出量の削減	自社廃棄物排出量の抑制	本社	363kg	356kg	352kg	348kg	345kg	341kg
		工場	－	－	－	－	－	－
		全社	363kg	356kg	352kg	348kg	345kg	341kg
	受託産廃の資源化推進	工場	最終処分率 5%以下を維持	5%　以下				
水使用量の削減	排水量の抑制	※3 本社	49.0㎥	49.0㎥ 以下				
		工場	未導入	無計量				
化学物質使用量削減 ※使用なし	－	PRTR対象の化学物質の使用はない。						
環境経営の推進	グリーン購入の拡大	本社	グリーン購入率	40%以上				
	製品及びサービスに 関する環境配慮	工場	協力会社へのｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ （燃費削減）の推進等	連絡会実施				
	陸の豊かさを守る	全社	水生生物の環境保護	調整池の水質管理、定期的植樹、道路・側溝清掃				
	地域貢献活動	全社	清掃活動など	清掃活動、不法投棄物撤去				

※CO_2排出係数： 電気0.385kg-CO2/kWh（㈱エネット 2021年度 調整後）
　2022年度8月以降は㈱エネットEnneGreen®電気（0.000kg-CO2/kWh）、ｶﾞｿﾘﾝ：2.32kg-CO2/ℓ、軽油：2.58kg-CO2/ℓ
※PRTR対象の化学物質の使用はありません。
※1　軽油使用量については2022年度より運輸部も計上したため、2022年度を基準年度に変更する。
※2　2024年度以降の電力についてはグリーン電力を導入しているため排出係数は0とする。
※3　水使用量については2024年度を基準年度に変更する。

5　環境経営目標の実績

対象期間として2025年4月から2026年3月まで取り組んだ実績と数値評価は次のとおりでした。

全社

	目標（2025年4月～2026年3月）		実績（2025年4月～2026年3月）			評価
	単位	目標値	実績値	基準年比%	増・減	
電気使用量の削減	kg-CO2	0	0	—	—	○
ｶﾞｿﾘﾝ使用量の削減	kg-CO2	46,978	43,628	7.1	減	○
軽油使用量の削減	kg-CO2	2,751,648	2,035,713	26.0	減	○
CO_2計	kg-CO2	2,798,626	2,079,341	25.7	減	○
自社排出一般廃棄物	kg	355.7	297.0	16.5	減	○
中間処理後最終処分率	%	5.0	0.0	100.0	減	○
水使用量	㎥	49.0	40.0	18.4	減	○
ｸﾞﾘｰﾝ購入（購入率）	%	40	35	12.5	減	×

本社

	目標（2025年4月～2026年3月）		実績（2025年4月～2026年3月）			評価
	単位	目標値	実績値	基準年比%	増・減	
電気	kWh	15,339	15,067	1.8	減	○
ｶﾞｿﾘﾝ	ℓ	16,054	14,425	10.1	減	○
自社排出一般廃棄物	kg	355.7	297.0	16.5	減	○
水使用量	㎥	49.0	40.0	18.4	減	○
ｸﾞﾘｰﾝ購入（購入率）	%	40	35	12.5	減	×

工場（RCセンター・砕石工場・建設残土最終処分場）

	目標（2025年4月～2026年3月）		実績（2025年4月～2026年3月）			評価
	単位	目標値	実績値	基準年比%	増・減	
電気	kWh	578,281	488,538	15.5	減	○
ｶﾞｿﾘﾝ	ℓ	4,194	4,380	4.4	増	×
軽油	ℓ	1,066,531	789,036	26.0	減	○
中間処理後最終処分量率	%	5.0	0.0	100.0	減	○

※　評価：目標達成＝○　目標未達成＝×

今年度までに二酸化炭素削減対策として実施した設備等は次の通りで、CO2削減に寄与できています。

・照明のLED化

・重機の4次規制適合車への更新（11台）排出ガスに含まれるNOx（窒素酸化物）排出量を現行規制に対し約90%低減

・水生生物の環境保護として調整池の水質管理のほかに中畑地区の道路清掃、不法投棄物撤去、植樹を実施しています。

・使用電力を2022年8月よりCO2排出係数0のグリーン電力に切替を行っています。

・重機の4次規制適合車への更新（2台）排出ガスに含まれるNOx（窒素酸化物）排出量を現行規制に対し約90%低減

6　環境経営計画の内容と取組結果

環境経営方針と環境経営目標達成のための経営計画は次の通りでサイト毎に取り組んでいます。
なお、サイトごとの取組結果は下記のとおりです。

評価は次の5段階で実施しました。
５：100%実施できた　４：75%程度実施できた　３：実施できたのは50%程度であった
２：25%程度しか実施できなかった　１：実施できなかった

(1)　二酸化炭素排出量の削減

		本社		RCセンター		砕石工場・建設残土最終処分場	
		取組項目	評価結果	取組項目	評価結果	取組項目	評価結果
電力	① プラントの節電管理の徹底	—	—	○	5	○	5
	② 運転停止時の電源OFF	—	—	○	5	○	5
	③ エアコン温度管理の徹底	○	4	○	4	○	5
	④ 事務機・照明等の節電	○	4	—	—	—	—
燃料	⑤ 重機の経済的運転	—	—	○	4	○	4
	⑥ 重機のメンテの徹底	—	—	○	5	○	5
	⑦ ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞの徹底	○	5	○	4	○	5
	⑧ 場内運搬の効率化	—	—	○	5	○	4

※使用電力を2022年8月よりCO2排出係数0のグリーン電力に切替を行っています。

(2)　廃棄物排出量の削減

一廃	① 社内廃棄物の分別徹底	○	5	—	—	—	—
産廃	② 中間処理後最終処分量の抑制	—	—	○	5	—	—

(3)　水使用量の削減

上水	① 散水・洗車節水の徹底	○	5	—	—	—	—
	② 手洗い時の節水の徹底	○	5	—	—	—	—
	③ 漏水点検の徹底	○	5	—	—	—	—

(4)　ｸﾞﾘｰﾝ購入の拡大

① ｴｺﾏｰｸ付事務用品の選択的使用	○	5	—	—	—	—

(5)　環境配慮活動

① 協力会社へのｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ啓発	○	5	○	5	○	5
② 周辺道路の清掃	○	5	○	5	○	5
③ 水生生物の環境保護	○	5	○	5	○	5

7　環境経営計画の今後の方針及び次年度の取組内容

環境経営計画の今後の方針と次年度における取組項目については、次のとおりです。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

活動計画	今後の方針	次年度取組
①プラントの節電管理の徹底	急激な負荷運転を防止する	○
②運転停止時の電源ＯＦＦ	機械類の停止後の速やかなOFFを徹底する	○
③エアコン温度管理の徹底	夏28度冬20度を目標とする	○
④事務機・照明等の節電	不要な照明の消灯を徹底する	○
⑤重機の経済的運転	過負荷運転をしない	○
⑥重機のメンテの徹底	定期的に整備する	○
⑦エコドライブの徹底	急発進、急加速をしない	○
⑧場内運搬の効率化	空荷運転を避ける	○

(2) 廃棄物排出量の削減

①社内廃棄物の分別徹底	分別ＢＯＸに入れる	○
②中間処理後最終処分量の抑制	造粒固化率を維持する	○

(3) 水使用量の削減

①散水・洗車節水の徹底	特に洗車用水の節水を徹底する	○
②手洗い時の節水の徹底	常に節水を意識し実施する	○
③漏水点検の徹底	月に一回メーターの確認を実施する	○

(4) ｸﾞﾘｰﾝ購入の拡大

①ｴｺﾏｰｸ付事務用品の選択的使用	エコ消耗品の利用拡大を図る	○

(5) 環境配慮活動

①協力会社へのｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ啓発	協力要請を定期的に行う	○
②周辺道路の清掃	定期的に清掃を行う	○
③水生生物の環境保護	調整池の水質管理	○

8　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

（1）　当社に関係する環境関連法令と遵守状況は次のとおりです。

No	法律・条例・その他　名称	規制・規定の内容	当社対応状況	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 岩出市廃棄物の処理及び清掃に関する条例（一般廃棄物）	1．産業廃棄物収集運搬・処理業の許可	和歌山県　処分許可証 和歌山県　収集運搬許可証 大阪府　収集運搬許可証 兵庫県　収集運搬許可証 奈良県　収集運搬許可証 福岡県　収集運搬許可証	遵守
		運搬車の表示及び書類の携帯		
		2．産廃処理施設設置許可		
		構造・維持管理基準	点検記録	
		産廃処理施設技術管理者設置	選任届出書	
		帳簿の記載	帳簿	
		3．産業廃棄物の受託・委託基準	―	
		委託契約（２者契約、許可証写）	契約書	
		マニフェスト交付、未回収時報告	マニフェスト綴り	
		4.事業系一般廃棄物	市町村処理	
2	採石法	採石認可	許可証	遵守
3	森林法	林地開発許可	許可証	遵守
4	大気汚染防止法 和歌山県公害防止条例	一般粉じん発生施設届出書	届出書	遵守
		特定施設設置届 事前調査		
		特定粉じん等作業実施届		
5	水質汚濁防止法	特定施設設置届	該当施設なし	遵守
6	騒音規制法 和歌山県公害防止条例	1．特定施設（空気圧縮機・破砕施設）	設置届出書（空気圧縮機は、移動式の為不要）	遵守
7	振動規制法 和歌山県公害防止条例	1．特定施設（空気圧縮機・破砕施設）	設置届出書（空気圧縮機は、移動式の為不要）	遵守
8	家電リサイクル法	1．リサイクルへの協力（家電4品目）	廃棄時	遵守
9	小型家電リサイクル法	1．リサイクルへの協力（ノートパソコン等）	廃棄時	遵守
10	建設リサイクル法	1．発注者の着工7日前の届出	必要な届出	遵守
11	自動車リサイクル法	1．リサイクルへの協力（新車購入時）	更新時	遵守
12	フロン排出抑制法	1．業務用ｴｱｺﾝ廃棄時の措置 2．業務用エアコン等の簡易点検・記録 3．フロン法対象施設の有無の確認 4．適正処理	廃棄時又は点検	遵守
13	消防法	2．消防用設備点検（機器点検･総合点検）	消火器	遵守
14	火災予防条例	1．少量危険物 指定数量の１/５以上	保管維持管理	遵守
		2．指定可燃物　　木くず		
15	オフロード法	法第4条 使用者の責務　・法第17条 使用制限	適合車購入	遵守
16	浄化槽法	浄化槽保守点検	点検報告書	遵守
17	悪臭防止法	敷地境界基準	該当なし	遵守
18	エネルギーの使用の合理化に関する法律	原油換算1500kl以上	対象外	遵守
19	地球温暖化対策の推進に関する法律	Ｉﾈﾙｷﾞｰ起源co2排出原油換算1500kL以上	対象外	遵守
20	雨水利用の推進に関する法律	雨水利用の努力義務	―	遵守
21	和歌山県リサイクル製品の認定及び利用の促進に関する条	リサイクル製品の認定	認定申請書	遵守
22	産業廃棄物の保管及び土砂等の不適正な処理防止に関する条例	特定事業場許可	許可証	遵守
		特定事業場区域内の浸透水を採集するための措置（調整池）	定期検査	遵守
23	ストックヤード運営事業者登録	土砂の搬入出管理	登録認可	遵守
24	道路交通法	安全運転管理者制度	届出書	遵守

※なお、当社は省エネ法対象規模未満（原油換算1500ｋＬ未満）です。

（2）　当社に関係する環境関連法令の遵守状況を確認した結果は、違反はなく、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。また、訴訟等もありません。

9　代表者による全体評価と見直し・指示

（1）　全体評価

全体としてCo2排出量は目標に対して達成できている。

（2）　見直し・指示ついて

グリーン購入の拡大については目標値40%に対して35%と5%及ばなかったが、飲料水やウエットティッシュ類は熱中症対策や衛生環境改善、感染症対策において必要不可欠な物資のため今後も増加していくと考えられる。しかしながら再度グリーン購入対象商品を見直し少しでも目標値に近づけるよう指示することとする。

次年度においての環境経営方針及び組織体制の変更は有りません。

（3）　今後の展望

昨年度と同様に労働力不足や安全性向上の観点からもICTやIoT技術の導入等も検討しながら生産性の向上やコスト削減、安全性の確保を課題に積極的に取り組んでいきます。

10　環境経営状況（教育及び外部コミュニケーション）

■安全衛生推進会議



■安全衛生基礎講習



■環境教育



■工場付近・定期清掃



■2025年度クリーンアップ運動



■いわで夏祭り清掃活動



■緊急事態発生・訓練



■紀の川市との合同清掃（中畑地区）



赤井工業株式会社
AKAI Industry Co., Ltd.

× SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Leave no one behind



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

3. すべての人に健康と福祉を

老若男女各世代すべての社員の健康を推進するために、健康診断を定期的に受診しております。社員全員の心身の健康増進による快適な職場作りを目指しています。各団体と共に河川や浜辺、不法投棄物のクリーンアップ活動に取り組んでいます。

4. 質の高い教育をみんなに

新人研修を徹底し、加えて企業理念を共有します。また、定期的なフォローアップを行うことで、一人一人の資質向上や将来的な人生設計の目標達成における手助けを行います。本人が希望する資格や社内でのステージごとの資格取得をサポートすることで、人としての資質の成長や向上に繋げています。社員全員に定期的な安全衛生教育や環境教育を行うことで、組織として自浄作用の働く集合体を目指します。

5. ジェンダー平等を実現しよう

和歌山県との「人権尊重の社会づくり協定」の締結に始まり、女性が働きやすい環境づくりやダイバーシティ（多様性）に向けた取り組みを行っています。また、人権への理解を深める教育や研修、相談窓口の設置など無意識の偏見をなくすことで、豊かな社会の実現を目指しています。

7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに

工場内の全電力は再生可能エネルギー 100%（Enne Green）の電気を使用しています。エコアクション 21 認証 【環境経営レポート】環境経営方針で経営行動指針を宣言。

8. 働きがいも経済成長も

安全で安心な職場環境づくりを推進しています。ワークライフバランスを導入し、社員全員が仕事とプライベートの調和を図り、働き方改革との両輪で業務へのモチベーションアップと効率化を実現できるよう取り組んでいます。

9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

砕石は道路や橋など様々な産業や生活基盤となるインフラ工事の材料として必要です。弊社は公共･民間工事を問わず、社会インフラ基盤整備に関わる材料供給を通じて、今後も社会に貢献していきます。

11. 住み続けられるまちづくりを

リサイクル事業での適正処理における環境保全事業や環境コンサル事業を通じて、環境負荷の低減を目指しています。国土強靭化計画での防災製品である DP シリーズを製造販売しており、大規模災害時での応急・復旧工事における資材供給体制を整えています。弊社社員全員が自覚し、今後も住み続けられるまちづくりに貢献していきます。

12. つくる責任　つかう責任

リサイクル事業において、100% リサイクルを目指しています。また、弊社工場内で使用している機械は、バックホーを初め Co2 を削減し環境に配慮した「排出ガス対策型重機機械」を使用しています。

13. 気候変動に具体的な対策を

エコアクション 21 での環境行動指針をもとに、社内での Co2 排出量を可視化し、情報共有して社員全員で Co2 削減に努めています。政府が推進する環境に配慮したエコドライブの一つであるアイドリングストップを行っています。排出ガス削減を行うことで、環境汚染を防いでいます。

14. 海の豊かさを守ろう

陸と海を一体に捉えた真の循環型社会･持続可能な社会の実現に向けた活動を推進しています。海と日本プロジェクトに所属し、環境再生のための支援を目指しています。

15. 陸の豊かさを守ろう

生物多様性を守るため、水生生物を保護できるよう河川の清掃活動や弊社敷地内に植樹を行う部を創設し、毎年植樹活動を行っています。豊かな自然や生き物を大切にする様々な取り組みを行うことで自然環境の保護に努めています。

16. 平和と公正をすべての人に

社会貢献活動に積極的に参加することで、地球環境にも貢献することを目的としています。人権の尊重・公正な事業活動を多面的かつ複合的に行い、平和な社会の実現を目指しています。また、防災対策など地域社会の課題解決に向けた製品やサービスの開発・展開に取り組んでいます。

17. パートナーシップで目標を達成しよう

私たち赤井工業は事業を通じて、すべての人々が安心で安全な心豊かに暮らせる社会づくりを目指しています。循環型社会推進企業として、未来の世代に負担を残さない持続可能な社会づくりを目指しています。お取引様、協力会社様、弊社社員をはじめ関わる全ての人達とパートナーシップを結び、SDGs 達成に向けた取り組みを働きかけ、全員で共通価値を共有することで目標達成に向けた活動をしてまいります。

2024.09